

## 令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立北三谷小学校 校長 村松 治

## 1 学校教育目標

- ・考える子
- ・明るい子
- ・ねばり強い子

## 2 学校図書館の目標・ねらい ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

- ・図書に親しみ、読書の楽しさを味わい、心豊かな子どもを育てる。
- ・発達段階に合った読書活動を行い、本の好きな子どもを育てる。
- ・学校図書館の情報を効果的に活用し、学習に生かすこと

## 3 学校図書館の現状(令和4年度末)

蔵書状況	① 蔵書数10403冊(蔵書基準冊数7960冊) / 蔵書率130.7%(前年度末126.9%) ② 新規購入図書641冊 / 廃棄図書340冊 / 増減冊数301冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.2%	1.2%	6.5%	6.6%	12.9%	4.9%	2.3%	5.8%	5.0%	52.7%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間:授業中、中休み(雨天時)昼休み ② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 41.6冊(前々年度末:27.4冊) ③ 1か月に2冊以上読む児童 67.4%(前々年度末:72.4%)									

## (令和5年度末)

蔵書状況	① 蔵書数11204冊(蔵書基準冊数7960冊) / 蔵書率149.8%(前年度末130.7パーセント) ② 新規購入図書765冊 / 廃棄図書16冊 / 増減冊数765冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2%	1%	6%	7%	13%	5%	2%	6%	5%	52%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間:授業中、中休み、昼休み ② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数40.1冊 ③ 1か月に2冊以上読む児童64.0%(前年度末:67.4%)									

## 4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① やさしい読み物に興味をもち、楽しんで読書をしようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館を使う授業により、本を手にする機会が増える。 ② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について知る。		① 各学級月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ② 年間目標B目標40冊以上。A目標50以上。 ③ 学校図書館オリエンテーションを全学級で行う。
目標達成状況	① 学校図書館を使用し、月に3回以上読書の授業を行った。 ② 年間読書冊数は、72.7%の児童がA目標を、13.6%の児童がB目標を達成することができた。 ③ 年度はじめに、学校図書館支援員と担任教諭による図書館オリエンテーションを実施した。	

第2学年	①いろいろな読み物に興味をもち、楽しん読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味のある本を探して、読書ができる。 ②図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら読書ができる。	①各学級月2回以上、読書や探求活動の授業を学校図書館で行う。 ②年間目標B目標40冊以上。A目標50冊以上。
目標達成状況	
①本の紹介や読み聞かせ(年間100冊以上)を多くしたことで、新たな本を読む児童が増えた。また、後期になると絵本だけでなく、活字の多い物語を読む児童(女子が多い)も増えた。 ②国語や生活科の単元で調べる学習の際に図鑑や科学的な読み物にふれ、その内容をクイズやカード、作文を通して友達に伝えることができた。 ③年間目標 B 目標40冊以上は20%、A 目標50冊以上70%。	
第3学年	①いろいろな読み物に興味をもち、進んで読書しようとする意欲を育てる。 ②進んで学校図書館を利用し、辞典や図鑑などから情報を得て、分かったことを学習に生かそうとする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味のある本を探して、読書ができる。 ②学校図書館を活用し、学習に必要な資料を集めることができる。	①各学級月1回以上、読書や探求活動の授業を学校図書館で行う。 ②年間目標 B 目標40冊以上。A 目標50冊以上。
目標達成状況	
①本の紹介や読み聞かせを多くしたことで、新たな本を読む児童が増えた。しかし、学年相応の本を読んで理解することが難しい児童も少なくないため、引き続き指導が必要である。 ②月1回以上の読書、総合的な学習の時間と合わせて探求活動の授業を行った。 ③年間目標 B 目標40冊以上は34.8%、A 目標50冊以上14.8%。	
第4学年	①いろいろな読み物に興味をもち、進んで読書しようとする意欲を育てる。 ②進んで学校図書館を利用し、辞典や図鑑などから情報を得て、分かったことを学習に生かそうとする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味のある本を探して、進んで読書ができる。 ②学校図書館を活用し、学習に必要な資料を集めることができる。	①各学級月1回以上、読書や探求活動の授業を学校図書館で行う。 ②年間目標 B 目標100ページ以上の本20冊以上。A 目標30冊以上。
目標達成状況	
①読書ビンゴや読書マラソンに取り組むことで、幅広い読み物に興味をもったり、ページ数の多い本に挑戦したりする児童が増えた。隙間時間には、読書活動を推進した。 ②授業の調べ物で積極的に本を活用して調べ、必要な資料を集める力につながった。 ③年間目標 B 目標100ページ以上の本20冊達成約37%、A 目標30冊以上達成約40%である。	
第5学年	①適切な読み物を選び、読書を通して心情を豊かにしたり、考えを深めたりしようとする意欲を高める。 ②積極的に学校図書館を利用し、複数の本や資料を活用して調べたり考えたりする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味のある本を探して、進んで読書することができる。 ②学校図書館を活用し、必要な情報を集め、学習に生かすことができる。	①各学級月1回以上、読書や探求活の授業を学校図書館で行う。 ②年間目標 B 目標100ページ以上本20冊以上。A 目標30冊以上。
目標達成状況	
①読書月間のみならず、毎日の宿題で読書に取り組み、読んだ本について感想を書いたり紹介したりする活動を取り入れたことで、実態に応じた本の選定や様々な種類の本への出会いにつながった。 ②年間読書冊数は、37%の児童がA目標を、29%の児童がB目標を達成することができた。	

第6学年	①適切な読み物を選び、読書を通して心情を豊かにしたり、考えを深めたりしようとする意欲を高める。 ②積極的に学校図書館を利用し、複数の本や資料を活用して調べたり考えたりする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味のある本や必要な本を探して、進んで読書することができる。 ②学校図書館を活用し、必要な情報を集め、学習に生かすことができる。	①各学級月1回以上、読書や探求活の授業を学校図書館で行う。 ②年間目標 B 目標100ページ以上の本20冊以上。A 目標30冊以上。
目標達成状況	
①月1回の頻度ではない月もあったが、ビブリオバトルや伝記の紹介などの活動で時期を決めて計画的に学校図書館を活用して授業を行った。 ②年間読書冊数は、19.0%の児童がA目標を、42.8%の児童がB目標を達成することができた。	

## 5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
<b>【蔵書・配架等に関すること】</b> ・本校学校図書館に必要な蔵書を充実させるべく、蔵書管理、貸し出し統計を考慮して選書する。 ・来年度以降、移動式の棚の設置を検討し、辞書や調べ物の資料を学習に活用しやすくする。 ・学校行事に合わせて特集コーナーを設置し、図書委員会の児童が企画、管理することで、読書への意欲を高める。	・児童との対話や貸し出し傾向などを新規購入の際の選書に反映させたことで、新規購入図書がよく借りられるようになった。 ・夏の図書館改装後、手狭になった書架を整理し、旧準備室を第二図書館として整備し、0～8類の本を中心に、調べ学習などで使用しやすい配置になった。
<b>【学校図書館支援員との連携・協働】</b> ・月1回図書担当と支援員との作業計画会議を開き、業務内容の確認を行う。 ・利用者対応や各学年からのレファレンス対応をしていただき、学校図書館を学習に効果的に活用できる図書館環境づくりを進める。 ・蔵書管理、選書支援を計画的にさせ、本校の学校図書館の蔵書の充実を図る。	・学校図書館オリエンテーションや読み語りを読書の時間に実施。見出し板の追加設置、学級文庫の控えを置いていた書架の整備を行った。 ・図書委員会との連携で「図書委員のおすすめの本」「本の福袋」などの取り組みを行った結果、貸し出し数増加につながった。 ・次年度の読書旬間に向け、各学年の実態に合った、新たな「おすすめの本リスト」を作成した。
<b>【その他】</b> ・本の修繕や配架整理により、学校図書館の環境を整える。 ・季節展示や新着本の情報などの掲示物を作成し、学校図書館利用への意欲を高める。	・図書館改装に伴い、図書室内を背の低い棚中心の配架にして空間にゆとりを持たせたことで、児童が本を探しやすい環境づくりにつながった。 ・長期休業日には児童がより読書に親しむことができるよう、貸し出し可能冊数を多く設定した。

## 6 学校図書館運営全体に関する自己評価(成果・課題・改善の方向性等)

課題として、図書室が校舎の東端3階で教室からやや離れた場所にあること、また外遊び推奨のため休み時間の利用が限られており、児童が本に自由に触れる時間が少ない実態がある。そこで、学級文庫として年2回各学級へ学年に合った本の配架を行ったり、調べ学習で使用する本や、辞書、辞典など、教科の学習内容に合わせた本をブックトラックで廊下や教室に配置したりと、児童が図書館の本を手に取りやすい工夫を行った。今後も、読書旬間を始めとした、朝読書などの活動を継続し、読書の習慣が身に付くようにする。

## 7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等(学校関係者から)

・改装で窓を覆う本棚がなくなって。図書館が明るくなり入りやすくなった。季節の掲示やPOPも親しみやすくてよい。  
 ・調べ学習に使う本が第二図書室にまとまったので、本が探しやすくなった。  
 ・新しい本や特集の本が手に取りやすい位置になったので、見やすくなった。